

令和6年度 太宰府市立太宰府西中学校 学校の自己評価報告書

R7.2.27 学校関係者評価委員会

1 学校の教育目標

「自ら輝き、成長を続け、なかまと共に心身逞しく、未来を創造する生徒の育成」

2 本年度の経営の重点目標

<確かな学力の向上>

<豊かな心の醸成>

<信頼される学校づくり>

3 学校評価大項目（主項目）

I 確かな学力の向上

- 自ら学ぶ意欲をもち、見通しをもって計画的に学習に励み、基礎基本の習得をめざす生徒
- 心身ともに健康で、学校生活を明るく前向きに過ごし、学校生活を充実させることができる生徒

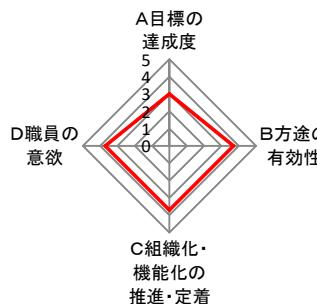
II 豊かな心の醸成

- 豊かな人権感覚をもち、自分の価値を認め、他者の多様性を受け入れる思いやりがある生徒
- 地域行事等に参加・参画し、地域のために貢献できる生徒

III 信頼される学校づくり

- コミュニティ・スクール（C S）の推進
- ※三者（学校・家庭・地域）の連携・協働、情報の発信
- 学校の危機管理

I 確かな学力の向上

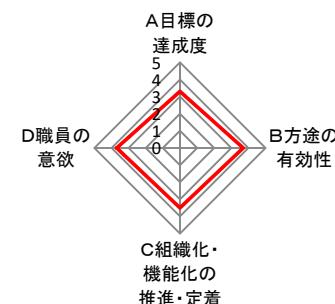


総合評価

3. 9

※ 5段階評定尺度 … 「5 とても満足できる」

II 豊かな心の醸成

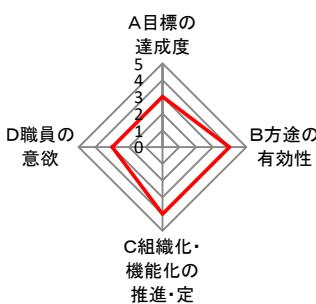


総合評価

3. 8

4 満足できる 3 概ね満足できる

III 信頼される学校づくり



総合評価

3. 6

2 努力を要する 1 根本的な改善が必要

<学校の実践や自己評価に対する評価（学校関係者評価）>

学校の実践や取組についての評価

4. 1

N = 15

学校の自己評価への評価

3. 9

N = 15

学校の実践や取組についての評価

4. 0

N = 15

学校の自己評価への評価

4. 0

N = 15

学校の実践や取組についての評価

3. 9

N = 15

学校の自己評価への評価

3. 9

N = 15

＜「3 学校評価大項目（主項目）」の評価の視点と各評価＞

※5段階評定尺度…「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

3大項目	評価の視点（細目）	自己評価		委員評価		
		各項目	総合評価	実践や取組	対自己評価	
I 確かな学力の定着	A 目標の達成度	・全国（正答率・学習状況）・県アスト、学力診断アスト、体力アスト、定期考査等の結果※指標以上	4	4.3	3.9	
		・生徒の自己評価（主として学力面）、保護者の評価（学習指導・家庭学習）	4			
		・計画的な校内研修及び1人1～2回の公開授業の実施	5			
	B 方途の有効性	・校内研究（協働的な学びと振り返り活動）の成果・課題	4	3.7		
		・生徒による各教科（授業）の評価	3			
		・朝学習や自学ノート、週末課題などによる基礎学力の定着	4			
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、研究推進委員会、学力向上委員会の機能化	4	3.7		
		・小学校、家庭、他機関等との連携	3			
		・生徒会活動を活かした学習規律や学習習慣づくりの徹底	4			
II 豊かな心の醸成	D 職員の意欲	・主題研究・一般研修の推進	4	3.7		
		・職員の自己評価（A 学習指導）	4			
		・研究の日常化	3			
	A 目標の達成度	・いじめの発生数、不登校生徒の数・復帰者の数	4	3.7	3.8	
		・生徒の自己評価（主として生活面）、保護者の評価（人間関係・教育相談）	3			
		・全国学力学習状況調査の数値（学校生活満足度）	4			
	B 方途の有効性	・諸行事、進路体験学習等の有効性	4	3.7		
		・校内研究（リレーション活動）の成果・課題	3			
		・生徒会活動への指導・支援とその成果と課題	4			
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、合同委員会（いじめ問題対策委員会・不登校対策委員会）の機能化	4	3.7		
		・他機関等との連携（S C、S S W、地域、外部機関による教室等）	3			
		・学年部や分掌（道徳・特活・総合）の機能化	4			
	D 職員の意欲	・職員の自己評価（B 生徒指導）	4	4.0		
		・職員の自己評価（C 学級経営）	4			
		・生徒指導や人権教育に係る研修会、市同研への参加	4			
III 信頼される学校づくり	A 目標の達成度	・市「コミュニティ・スクール推進状況の評価」の値	3	3.3	3.6	
		・生徒の自己評価（地域理解や行事参加）と保護者の評価（三者連携・推進状況）	4			
		・文化理解科・地域ボランティア・学校行事・P T A行事等での実践と成果	3			
	B 方途の有効性	・C S学校運営協議会の設置要項・推進構想・全体構想等の有効性	3	3.7		
		・家庭・地域等との連携、P T A活動の活性化、情報発信の有効性	3			
		・学校事故や生徒指導に係る報告・連絡・相談の徹底、5大不祥事の防止・実践	5			
	C 組織化・機能化の定着・推進	・C S学校運営協議会の組織づくりと運営力、学校の体制づくり（校務分掌組織）	3	3.5		
		・文化理解科等地域人材の活用、外部講師等の招聘推進による組織活性化の実践	*			
		・日常的な危機管理（リスクマネジメント・クライシスマネジメント）、マニュアルの活用	4			
	D 職員の意欲	・職員の自己評価（C 校務分掌）	4	3.7		
		・職員の自己評価（C 家庭との連携）	4			
		・各種研修会や学習会への職員の参加、論文執筆、研究サークル等への参加	3			